

神奈川県立がんセンター 消化器外科（胃食道） レジデント研修評価表（ 年次）

レジデント	期（氏名）			2022.3 ver.2
指導医				レジデントは太 枠内を記入
研修期間	年	月	日～	年 月 日
がん専門医研修における腫瘍内科医としての下記の研修目標について自己評価をするとともに、指導医による評価も受ける。				
A: 修得した B: ほぼ修得した O: 目標に達しない				
	自己評価	実施または術者	見学または助手	指導医評価
1. 以下の消化器外科領域の臓器の病態生理を理解している。				
1) 食道	A・B・C	/		A・B・C
2) 胃	A・B・C			A・B・C
3) 十二指腸	A・B・C			A・B・C
4) その他の臓器	A・B・C			A・B・C
2. 以下の消化器外科的疾患を理解し、適切な治療方針が決められる。				
1) 食道がん	A・B・C・症例なし	/		A・B・C
2) 胃がん	A・B・C・症例なし			A・B・C
3) GIST	A・B・C・症例なし			A・B・C
3. 以下の消化器外科医として必要な患者管理・処置ができる。				
1) 上部、下部消化管内視鏡検査	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
2) 上部、下部消化管造影検査	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
3) 胸腔、腹腔穿刺	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
4) 経静脈、経腸栄養管理	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
5) 緩和医療（疼痛管理など）	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
6) 化学療法	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
7) 重症例の全身管理	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
8) 画像診断（CT, MRI, 超音波など）を用いた処置	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
4. 以下の消化器悪性腫瘍の治療手技（開腹、腹腔鏡下）を修得している。				
1) 胃切除（開腹下）	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
2) 胃全摘（開腹下）	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
3) 胃切除（腹腔鏡下）	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
4) その他（バイパス術など）	A・B・C・症例なし	件	件	A・B・C
5. 学会活動を行つている。		演者または著者	共同演者 または共著者	
1) 学会発表	A・B・C	件	件	A・B・C
2) 論文発表	A・B・C	件	件	A・B・C
レジデント自由記載欄：（欄不足の場合は裏面へ）				
評価： 年 月 日		判定： 優・良・可・不可		
指導医記載欄：				

提出方法: レジデントは研修期間終了時に自己評価を記入して指導医に提出し、指導医は指導医評価を記入後1ヵ月以内に総務企画課に提出すること